

船舶事故調査報告書

平成27年3月5日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	火災
発生日時	平成25年4月2日 14時00分ごろ
発生場所	島根県隠岐諸島島後（隠岐の島町）南東方沖 島根県隠岐の島町所在の池尻埼灯台から真方位161° 1.7海里付近 （概位 北緯36° 10.8′ 東経133° 22.8′）
事故調査の経過	平成25年4月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三清幸丸 ^{せいこう} 、29トン 136137、有限会社清幸丸 28.75m×4.87m×2.25m、FRP ディーゼル機関、736kW（動力漁船登録票による）、平成13年10月21日
乗組員等に関する情報	機関長 男性 29歳 五級海技士（機関） 免許年月日 平成23年3月23日 免状交付年月日 平成23年3月23日 免状有効期間満了日 平成28年3月22日 専任機関長 男性 64歳 五級海技士（機関） 免許年月日 昭和50年9月5日 免状交付年月日 平成21年7月28日 免状有効期間満了日 平成26年10月10日
死傷者等	なし
損傷	機関室及び操舵室が焼損
事故の経過	本船は、船長及び機関長ほか9人が乗り組み、島後南東方沖を航行中、平成25年4月2日14時00分ごろ、甲板上で水揚げ作業の準備をしていた乗組員が、機関室から煙が出ていることに気付いた。 本船は、乗組員が、直ちに持運び式消火器で消火しようとしたが、煙が充満して機関室に入れず、消火作業ができなかったため、操舵室の船長に報告し、船長が所属の漁業協同組合に事故の発生を知らせる

	<p>とともに救助の要請を行った。</p> <p>本船乗組員は、14時45分ごろ来援した僚船に全員救助された。</p> <p>本船は、来援した巡視船により消火作業が行われて鎮火し、隠岐の島町西郷港へえい航された。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 本事故時の状況、写真2 本事故後の状況 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 南南西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>
その他の事項	<p>本事故当時の機関長は、専任機関長が休暇の間の代理として乗船しており、本船の整備等は主に専任機関長が行っていた。</p> <p>機関長は、主機を始動する前に機関室内の点検を行っていたが、油の漏れ等を認めなかった。</p> <p>本船の機関室は、船体中央部にあり、出入口が2か所設けられていた。</p> <p>本船は、平成16年の主機換装に伴い、電気配線を交換した。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、島後南東方沖を航行中、機関室から出火したものと考えられるが、出火した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、島後南東方沖を航行中、機関室から出火したことにより発生したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生経過概略図



写真1 本事故時の状況



写真2 本事故後の状況

